

## 第2回 教科用図書選定審議会 議事概要

令和2年5月29日（金）  
岡山県立図書館多目的ホール

### 1 経過報告

- （●事務局：第1回選定審議会について経過報告）
- （●事務局：「選定に必要な資料」について経過報告）

### 2 （1）「令和3年度使用義務教育諸学校（中学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」について

#### 国語

- 委員：「具体的に示されている」と「具体が示されている」のように異なる表現で記載されている教科書がある。これについてはどうか。
- 事務局：教材内容を使って具体的な方法が示されている教科書と一般的な考え方や思考の方法がまとめられている教科書があり、そのような記載をしている。
- 委員：文章だけで読むと難しい部分がある。県教育委員会が市町村等教育委員会に指導、助言又は援助を行う際に、選定に当たっては、教科書と照らし合わせて見るように伝えた方がよい。
- 委員：児童生徒の実態を把握して指導を行うことが大切であると考え。新型コロナウイルス感染症の影響で、「主体的に学習に取り組む態度」を養うことが一層重要になってくる。「主体的に学習に取り組む態度」の観点の記述が少し弱いように感じる教科書があるが、これについてはどうか。
- 事務局：各教科書の特徴的な内容から順に記述している。どの教科書も「主体的に学習に取り組む態度」内容が記載されている。優劣を付けているものではない。
- 委員長：採択権者に渡すときは、研究資料だけを渡すのか。
- 事務局：研究資料だけでなく、ページ数や判型が記載された資料も採択権者に送付する。

#### 書写

- 委員：目次に示す教科書会社の記載順と研究資料の掲載順が異なっている。また、教科書毎に記述の分量が異なっている。書写は国語の教科書と関連が深いことから、採択に影響が出る考えられる。修正が必要ではないか。
- 事務局：資料の掲載順と、記述の分量については修正を行う。

#### 社会（地理的分野）

- 委員：「歴史や対立の経緯」が記載されている教科書があるが、これでよいか。
- 事務局：本文中に「対立」の語句が記載されているが、再度、確認し修正する。

○委員：「見方・考え方」が重要視されているが、記載はあるか。

●事務局：教科書ごとに取り上げ方の違いが見られる。

#### 社会（歴史的分野）

○委員：「探究的な活動」について記載がある教科書と「探究的な活動」について記載がない教科書があるが、どうか。

●事務局：全ての教科書で記載されている。「調べ学習」と記載されている教科書もある。

○委員：「不法占拠」の表現があるが、何を根拠に記載しているのか。

●事務局：教科書の本文に記載されている。領土問題については本文中、特設ページで取り上げるなど、教科書ごとの特徴が表れている。

○委員長：本文に記載があることから研究資料に記載してあるが、教科書の内容を丁寧に確認し、記載する必要がある。

○委員：慎重に内容を確認し、記載した方がよい。

●事務局：分量を揃えながら、再度、丁寧に確認し、修正する。

○委員：領土問題以外の今日的な課題について、専門調査員で調査したのか。

●事務局：7つすべての教科書で、調査研究を行った。

#### 社会（公民的分野）

○委員：教科書の巻末に「用語解説」があるが、1つの教科書だけ「分かりにくい用語解説」と示されているが、これはどういうことか。

●事務局：「用語解説」と揃えた方が分かりやすい。修正する。

○委員：生きる力を育むために、「見方・考え方」を育むことが重視されているが、記載がない教科書が見られる。

●事務局：各教科書の特徴的な内容を研究資料に記載しており、その中に「見方・考え方」にかかわる内容も含まれている。

○委員：研究資料の自由社の記載に「課題の探求」とあるが、「探究」ではないか。

●事務局：教科書の記載のとおり「探求」である。

○委員：不法占拠についての記載があるが、「不法占拠」、「不法占拠を続けており」、「占拠」と記載が揃っていない。

●事務局：記述については、再度確認し、修正する。

○委員長：領土問題について、「国際司法裁判所に判断を委ねている。」という記載がある教科書と記載がない教科書があるが、これについてはどうか。

●事務局：すべての教科書において「国際司法裁判所」について記載されているが、資料には、分量の問題で記載できていない部分がある。

### 社会（地図）

○委員長：「防災」について記載されている教科書と「自然災害」について記載されている教科書があるがこれについてはどうか。

●事務局：ハザードマップや地形図を基にした学習などがあり、特徴的な内容を記載した。

### 数学

○委員 員：別冊にしている利点は何か。

●事務局：他教科等との関連、発展的な内容、授業以外の家庭学習にも使えるようになっている。

○委員長：別冊の取扱いについて何か説明があるか。

●事務局：数学以外にも、技術、道徳に別冊があり、別冊であっても教科書である。

○委員 員：ページ数に大きな違いがあるが、内容に違いがあるのか。

●事務局：教科書の内容は、学習指導要領の内容を網羅している。学習活動を多く扱っている教科書はページ数が多い。

○委員長：1つの教科書だけ、「第1学年」と特化して記載されているのはなぜか。

●事務局：特徴的な内容であるため記載した。

○委員長：「探究的な活動」について似たような表現はあるが、1つの教科書だけ記載がないことについてはどうか。

●事務局：記載はないが、コラムの中に「探究的な活動」について、自分の学んでいる知識技能を実際にどのように生かしていくのかを促す内容が盛り込まれているためである。

### 理科

○委員 員：理科については、「探究的な活動」が明確に示されている。「探究」という表現がない教科書があるが、どうか。

●事務局：文字数の関係であり、どの教科書も「探究的な活動」は取り上げている。

○委員 員：学び方については、十分に記載されている。内容、取り上げ方の特徴はあるか。

●事務局：探究の過程に沿って内容が構成されているところに各教科書の特徴が表れている。

## 音楽

○委員：「著作権」と「知的財産権」の記載があるが、あえて分けているのか。

●事務局：学習指導要領で「著作権」について扱うこととなっている。日常生活や社会生活とのかかわりで「著作権」について扱った教科書と、情報活用能力という観点から「知的財産権」について扱った教科書があったため記載が異なっている。

○委員：「GIGAスクール構想」が推進されているが、コンピュータと音楽の関係について、記載がない教科書はあったのか。

●事務局：具体的なソフトについての記載はないが、音楽にかかわる仕事について記載があった。

○委員長：曲想と音楽の構造や背景、音楽の多様性について、コンピュータと音楽との関連はどうか。

●事務局：情報活用能力には、ICT機器の活用、知的財産の意義も含まれている。曲想と音楽については創作活動も関連している。

## 美術

○委員：「作家や生徒の作品がバランスよく紹介されている」という記載の根拠は何か。

●事務局：3冊構成になっている教科書でページ数も多い。その中から教員が作品を取捨選択して指導に生かしていくことができるようになっていることから記載した。

○委員：1つの教科書だけ、道徳との関連が記載されているのはなぜか。

●事務局：美術と感性については切り離して捉えるものではなく、どの教科書にも内容は記載されているが、1つの教科書だけ、特徴的な部分であるため記載した。

○委員長：美術における「探究的な活動」の位置付けについては、どうなっているのか。

●事務局：作品同士を比較することで、互いに理解を深めていく活動が記載されている。

○委員：Society 5.0を目指す中で、STEAM教育のARTの部分の感性を豊かにすることや創造性を掻き立てることについて、どのような特徴が学びを支えようとしているのか。

●事務局：作成した作品だけではなく、完成に至るまでの過程を大切にしていける内容も記載されている。

## 保健体育

○委員：新しい生活様式に移った後の、保健体育の在り方が示されないと、学校の教員は困る可能性がある。今後の保健体育についてどのように考えるか。

- 事務局：ICTの活用が重要であると考え。体育で、自分の動き、他者の動き、模範的な動きを動画で見ることなどの活用が考えられる。教員も対応していくことが求められる。

#### 技術・家庭（技術分野）

○委員：記載内容に誤字があるため修正が必要である。

- 事務局：修正する。

#### 技術・家庭（家庭分野）

○委員：学習指導要領のB（衣食住の生活）→C（消費生活・環境）→A（家族・家庭生活）の順番となっているのはなぜか。

- 事務局：ABCは学習指導要領に示されている内容であり、研究資料は、教科書に掲載されている順に記載したものである。

#### 外国語（英語）

○委員長：「他教科を英語で学ぶ内容」とは何か。

- 事務局：例えば、理科の学習内容を英語で学ぶことである。

○委員長：「他教科で学ぶ内容を英語で学ぶ。」という表現ではどうか。

- 事務局：修正する。

#### 道徳

○委員長：使用学年の記載と誤字の修正をすること。

- 事務局：修正を行う。

○委員：「なんだろう なんだろう」という題材は教科書を見てもよく分からないのだが、どの部分を指しているのか。

- 事務局：（教科書を提示）どの学年にも1つずつ題材として示されている。

○委員：GIGAスクール構想の実行や新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を考えると、ICTの活用はどうであるか。

- 事務局：QRコードや専用サイトが記載された教科書がある。特徴的な教科書には記載した。

○委員：QRコード等の記載があるものは、すべて記載した方がよい。

- 事務局：昨年度と同様に「QRコードの中身については言及しない。」という対応でよいか。

○委員長：QRコード等があるか、ないかのみ記載してはどうか。

●事務局：QRコードや専用サイトの掲載状況について、記載する。

○委員長：「題材の最初に問いが示されている」と「題材末に問いが示されている」という記載があるが、こういった意図で記載しているのか。

●事務局：「問い」が書かれている部分の違いである。題材の前に示されているか、題材の記載の後に示されているか、について記載した。

## 2 (2)「令和3年度使用義務教育諸学校の教科用図書（学校教育法附則第9条の規定による教科用図書）研究資料」について

---

○委員：対象とする表記が「 」で示されているものと「 」で示されていないものがあるが、違いについて説明願いたい。

●事務局：「 」が付いてある表記については出版社が元々示しているものを用いた。「 」の付いていないものは、学習指導要領を基に専門調査員で対象を考えた。

○委員：「表紙は固くて丈夫である。」「表紙は丈夫である。」という記載があるが、違いは何か。

●事務局：これまで研究してきた図書と比較しながら表紙と紙質について判断を行った。表紙は厚みが異なっていたり、加工してあったりするものである。

○委員：価格はなぜ書かれているのか。

●事務局：文部科学省から示される「一般図書一覧」の中に価格の記載がある。一般図書の研究資料については、無償給与ではない特別支援学校の高等部の教科書採択にも用いることもあるため、従来から価格も付記することとしている。